

第7号では校外学習当日とスカッシュタイムに向けての様子を紹介します。

## 校外学習の様子

### ▼国会議事堂にて

国会議員の方がお忙しい中、附属中生のために時間をとってください、お話をしてくださいました。数分後にはヘリコプターでここをご出発されました。



▼屋食は日本食でした。帰国生徒の皆さんからすると、食べたことのない食材や味付けが多く、驚いていたようでしたが、多くの人が完食していました！舌鼓を打つような贅沢な屋食でした。



### ▼科学技術館にて

大きなシャボン玉の中に入りました。



### ▶皇居にて

石垣の溝に足を入れれば登れるのではないかと好奇心旺盛な人たちがいました。やはり、登れませんでした。このように、敵が攻め込んできたときにすぐに攻撃されないように防御していたのだと身をもって実感できたと思います。

この日だけで約 25,000 歩も歩いていました。

## スカッシュタイムに向けて

1月12日(金)のスカッシュタイムで、帰国生徒校外学習のまとめの発表をします。そこでは、自身の海外経験を生かしたり、共通点と相違点に着目したりして、国会議事堂や科学技術館で学んできたことを発表します。各々が得意なことを生かして発表ができるように、役割分担をしました。また、学習会では、実行委員長が作成してくれた資料をもとに準備を進めています。生徒の皆さんが興味を持ってくれるような発表ができるといいですね。

～保護者の方より～

## NY クリスマスの醍醐味 ツリー・カッピング

11月のサンクスギビングが終わると、NYの人々はクリスマスツリーを手に入れるため、北に向かいます。NYCから車で1～2時間。アップステートと呼ばれる地域には、クリスマスツリー用の木を植えている農場がたくさんあり、人々は気に入った木を選んで自分で切るのです。1本約60～70ドル。鋸も貸してもらえるので、子供たちも大喜びでカッピングに挑戦します。1本切ると結構汗だくです。切った木は農場のスタッフが車の屋根に括りつけてくれます。帰りのハイウェイでは、ツリーを乗せた車をたくさん見かけます。自分で切った生の木にこだわりながらも、カッピングも家族のレジャーとしてエンジョイするのがアメリカンスタイルなんですね。